

医療連携・遠隔セカンドオピニオン

Dr. 萬 憲彰 (ヨロズ ケンショウ) 先生

医師・医学博士 医療法人社団医新会理事長・よろず内科消化器内科クリニック院長
先進統合医療部門登録医 (癌免疫療法) 日本先制臨床医学会理事・統合腫瘍治療研究
部会部会長国際水素医科学研究会副理事長・日本老化制御医学会理事・日本プロテオ
検査研究会代表理事 日本抗腫瘍ハーブ研究会代表理事・腸内フローラ移植臨床研究
会理事・日本内科学会 日本複合医療臨床研究会正会員

【所属学会】日本内科学会 日本消化器病学会 日本内視鏡学会・ピジエネティック
療法研究会 日本統合医療学会 日本フェロトーン臨床研究会 遺伝子治療
研究会 JCMC日本複合医療臨床研究会

● サロン担当 非常勤 (医療連携)

我が国には国民皆保険制度という世界にも誇れる素晴らしいシステムがあります。

この保険制度はどなたでもエビデンスレベルの高い高水準な医療が低価格 (1割~3割負担) で受けられることが特徴です。基本的にこの範囲内で治療可能な場合は最優先すべきです。しかし国内には難病難民と呼ばれる患者が相当数いることも忘れてはなりません。これは言い換えると、国民皆保険制度では治療不可能な疾患を持つ方々とも言うことができます。

もう一つ、混合診療禁止という法律がありますが、これは同一の医療機関で同一病名に対し、自由診療と保険診療を同時に行うと全額自費診療となるというものです。このため、総合病院や大学病院で治療中の患者さんは標準治療以外の治療を希望しても自由にそれを受けることができないのです。

また、そこで勤務する医師は、取り扱うことができない治療法やガイドラインに載っていない治療法に関しては無関心であり、その結果、知らない=怪しいといったイメージを持たれることが多くあります。かくいう自分も総合病院勤務時代はそうでした。しかし、一旦海外へ目を向けると実は先進国の殆どの国では複合的な医療 (先進医療や伝統医療などを組み込んだ医療) が取り入れられており、実際にがんの罹患率や死亡率は軒並み低下してきている実態に触れ、ガイドラインによる治療法の選択肢がなくなると「もう治療はない」と見放された難病難民を少しでも減らすためには保険診療外でも有効な治療法を検証し確立していく必要があると考えて臨床現場で活動する医師の代表格の医師。

萬先生が推奨させていただく主なサービス

● サードオピニオンサービス

(第三の医療選択と医療決定支援の為の医療相談)

サードオピニオン (通常疾患) 60分	16,500円 (税込)
同上 (癌・難治性疾患) 60分	27,500円 (税込)
遠隔サードオピニオン 30分	13,200円 (税込)

ご自分や、大切なご家族が不幸にも重篤な疾病になられた時.....少しでも快方・回復の道を選びたい。

できれば適切な専門医を紹介して欲しい。誰もそう願うと思います。ごく少数の方は、顔の広い有力な医師とコネがあり、その不安を解消できているかもしれませんが、多くの方々は迷い悩み「医療難民」となっているのが現実です。最悪の場合一部は「心無い民間療法」に頼り、さらに悪化してしまうケースも見受けられます。私たちはあなたの主治医として、徹底的にご相談いただけるよう、まず「正確な情報収集」と「十分な時間の確保」ことが不可欠と考え、通常医療機関で保険診療下で実施され「ガイドラインに沿った同様な回答しか得られないセカンドオピニオン」とは異なり、不安を抱く皆さまに寄り添う事を目的に、経験豊かな医師と医療コーディネーターが二人三脚にて充分な時間を掛け相談に乗り「適切なアドバイス」と、医療界や国境の壁を越え、現段階で可能性の高い「最適な医療へのご案内」を行います。



腸内水素発生サプリ HG EVOLUTION

大阪大学産業科学研究所開発のシリコン製剤を原料に1日3カプセル飲むことで1g以上の摂取となり体内で20時間以上400ml~800mlの水素を発生する。
(飽和水素水換算20~40Lに匹敵)

複合医療へ

よろずクリニックへ